

小曾木市民センター 手打ちうどん教室

7月7日(金)、小曾木市民センターにて「手打ちうどん教室」が「家庭でできるうどん作り」をテーマに開催されました。

小麦粉と塩によって作られる「うどん」。小麦粉は、産地によりグルテン量等が違い、味わいが違ううどんができます。塩はうどんの表面をひきしめます。自然塩や硬水はカリウム・マグネシウム等が多く、表面の抗張力が強くなります。麺にこしがあるという時の「こし」とは、このうどんの表面の抗張力のことを言います。というように学びながら、踏んでのして、おいしいうどんを作りました。



第6支会 インディアカ大会

6月11日(日)、第26回第6支会インディアカ大会が小曾木市民センター体育館で15チームが参加し行われました。大会は各チームが3試合ずつ行い、その勝敗数、得セット、得失点差により順位を競います。今年は、小曾木4丁目Cチームが優勝を飾りました。



おそき DE ブチ田舎暮らし 田植え体験& 田んぼの手入れ体験

田植え体験

今年の田植え体験は、6月18日(日)に「おそきの学校と地域を考える会」と青梅市農林課の協働で開催されました。

参加者150名、スタッフ30名の計180名での田植えです。インターネットでの告知が中心となった今回の募集による参加者は多摩地区から14家族、都区内から13家族、都外から2家族、外国籍の方も1グループと広範囲の構成で最大の人数となりました。

今回の田植えは、田んぼに引っ張ったヒモにマークを付けて置き、ヒモを動かしたらマークの場所に苗を植える方法。ぬかるみ深い田んぼに入ると、最初は戸惑ったり怖がったりしてなかなか植えられなかった子どもたちも、徐々にペースをつかんでヒモを移動させるスピードも上がって植えて行きます。広い田んぼも1時間ほどで植え終わり、思った以上にきれいに植えることが出来ました。



その後は、カレーライスと地産のきゅうりの漬物を食べて一休み。雨も心配されましたが、地域紹介コーナーや稲から精米のできるまでの展示コーナー、また、瓶突き精米体験コーナーなども楽しんでいただきました。



田んぼの手入れ体験

8月6日(日)、午後4時から少しは涼しくなる時間を狙って、田んぼの手入れ体験を行いました。今年は草の伸びも早く、田んぼに大量の草が伸びています。スタート時刻の直前には、結構強めの雨も降り、どうなることかと心配しましたが、時間にはやみ、予定通りのスタートとなりました。参加者15名、スタッフ9名と少人数での草取りは思った以上に捗らず、広い田んぼの半分程度を終わったところで約1時間の終了時刻となりました。農家の方々のご苦労の一部がかいま見られた田んぼの手入れ体験でした。

